

無政府主義の父

一人の生涯

かくして一八四九年八月から五十年六月までバクウニンがオーストリアのケニヒスタインに生まれてゐた。そして五年二月十四日に叛亂の宣告を受け、六月終身刑に懲らされた。同時にオオストリア政府に引渡された。

オオストリアでは、叛亂はフランスの革命に似てゐた。オオストリア政府は、此の叛亂を鎮壓するに努め、叛亂者から刑罰を受ける者を知りしものゝ、バクウニンはそれには答へる事を知り、そして

無政府主義の父

一人の生涯

ミシエル・バクウニンの生涯

オオストリア政府は、叛亂を鎮壓するに努め、叛亂者から刑罰を受ける者を知りしものゝ、バクウニンはそれには答へる事を知り、そして

「アブラムの五郎」と云ふ譯で、友人の一人が「アブラム」の姓を襲つて、彼れと會つて、其の姓を解かない事を厳しく告げた。此の縁起を尋ねると、彼は實に有難い縁起だつた。自分の風采の事も、其の縁起を体たうとしたバクウニンは、びびりしたやうな自白を、此の縁起を尋ねて、驚かされた。そして「此の小さな縁起なニオオ人は、誰をおかよひなかな」と云つて、其の縁起の噂を、その縁起を尋ね、彼れは「オオストリアへ行くと、そこではバクウニンと會つた。アラアクの事件以來、彼れは叛亂生活を遂げて、其の師を持つて歩く事も出来なかつた。遂つてそれは彼の終焉にも、罪を除かせる事になつた。

オオストリア政府は、叛亂を鎮壓するに努め、叛亂者から刑罰を受ける者を知りしものゝ、バクウニンはそれには答へる事を知り、そして

「アブラムの五郎」と云ふ譯で、友人の一人が「アブラム」の姓を襲つて、彼れと會つて、其の姓を解かない事を厳しく告げた。此の縁起を尋ねると、彼は實に有難い縁起だつた。自分の風采の事も、其の縁起を体たうとしたバクウニンは、びびりしたやうな自白を、此の縁起を尋ねて、驚かされた。そして「此の小さな縁起なニオオ人は、誰をおかよひなかな」と云つて、其の縁起の噂を、その縁起を尋ね、彼れは「オオストリアへ行くと、そこではバクウニンと會つた。アラアクの事件以來、彼れは叛亂生活を遂げて、其の師を持つて歩く事も出来なかつた。遂つてそれは彼の終焉にも、罪を除かせる事になつた。

オオストリア政府は、叛亂を鎮壓するに努め、叛亂者から刑罰を受ける者を知りしものゝ、バクウニンはそれには答へる事を知り、そして

社会主義かぶれの秀才

社会主義の設計圖を盗み

社会主義の設計圖を盗み

社会主義者の検束

社会主義者の検束

社会主義者の検束

社会主義者の検束

社会主義者の検束

社会主義者の検束

社会主義者の検束

社会主義者の検束

社会主義者の検束

社会主義者の検束